

---

## 「市販薬過量服用で救急搬送された患者の依存・乱用に関する多施設共同調査」 に関するお知らせ

---

このたび、当院で実施した調査にご協力を頂いた患者様について以下の研究を実施いたします。本研究は埼玉医科大学病院IRBの承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、研究資料の使用に賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

### 研究の概要について

#### 1. 研究の対象となる方

2021年4月5日から2022年12月31日までの間に「市販薬過量服用で救急搬送された患者の依存・乱用に関する多施設共同調査」(以下、多施設共同研究)に協力して頂いた方です。

#### 2. 研究の目的

多施設共同研究では、救急医療施設に搬送された市販薬の過量服用患者の臨床症状や過量服用した背景の特徴を明らかにすることを目的としました。本研究は、多施設共同研究の実施期間中に協力のあった研究者の含んだ研究成果を論文にするための第2版です。

#### 3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日

#### 4. 利用または提供の開始予定日

2025年6月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

### 研究に用いる試料・情報について

#### 1. 試料・情報の内容

多施設共同研究で得られた情報(生活環境・生活状況、過量服用のきっかけ・動機、精神疾患ならびに身体疾患の既往、過量服用による合併症および重症度、市販薬乱用および依存形成状態・使用状況、相談機関などの社会資源の活用状況)

なお、多施設共同研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院臨床中毒科において、研究責任者である上條吉人が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

#### 2. 試料・情報の取得方法

本研究では、多施設共同研究で得た情報を使用します。研究の目的や方法に変更はなく、データの二次利用に該当しません。

